

有機農業勉強会報告！



令和3年3月9日長野県売木村、10日は大鹿村で有機農業の勉強会「自然農法における水稻雑草抑制技術」が開催されました。

勉強会開催のきっかけは、福井県勝山市の有機JAS認証グループ「かっちゃんまゆうきの会」のメンバーで、今年から有機JAS認証を申請された渋谷さんの奥さんの妹夫婦との出会いでした。妹さんご夫婦は、長野県売木村で有機農業に取り組んでおられます。

昨年、渋谷さんの稲刈りにお手伝いに来られ、自分たちの有機農業の取り組みとの天と地ほどの違いにびっくりされ「是非自分たちのメンバーにもこの取り組みを紹介したい」と、勉強会開催の依頼をお受けしました。

一番驚かれたのは収穫量で、地域の平均収穫量の7割～8割前後あり、しかも除草に全く苦労していない事でした。

売木村は、愛知と長野の県を跨ぐ地域にあり、標高1000m級の峠に囲まれた盆地の村です。猪や鹿等の獣害が多い所で山の中にフェンスがしてありました。人口の約3分の1が移住者です。その移住者の多くが環境や健康に対して関心が高く、参加者の中には自分で醤油まで造られる方もおられました。村長さんの選挙では移住者の方々が応援された方が当選するなど、環境と健康志向の強い地域の印象を受けました。有機農業の取り組みは農業生産法人「ネットワークうるぎ」が中心となり取り組んでおります。

今回の勉強会テーマは、○有用微生物(E.M)を活用した土づくり ○雑草の種類毎の抑制方法について○有用微生物(E.M)を活用してコナギの発芽促進

で行いました。参加者は初めて聞く水稻雑草の役割等、今まで有機農業の研修会では聞いたことのない内容に戸惑いを感じながらも、出来るところから試してみたいとの感想を言っておられました。

大鹿村も移住者が多く、やはり環境や健康志向の高い人たちが多く、お互い協力し合いながら地域起しを行っている印象を受けました。大鹿村の会場には、E.Mを生ゴミや畜産等で使った事のある方々もおられました。有機農業実践者も数名おられ、この方法で除草対策となるのかと真剣に聞いてこられました。

村議会議員さんも来られ、大鹿村を「有機の村としての方向性を議会で決議する段階に来ている。」と熱く語って下さいました。どちらの会場でも、今年は試験的に実施し要領が分かれば有機栽培の規模拡大が期待できますので、小面積からの実施をお願いしました。

南 都志男 記

